

歴史ロマンの街、堺でつくろう！共に生きる社会を！ ～地域・関係団体・学校とのつながりを育みながら～

大阪府堺市	●活動名	堺支援ふれあい広場	●関係する学校名	大阪府立堺支援学校

協働活動開始年度	平成 24 年度	学校運営協議会	指定・設置日	平成30年4月1日設置	地域学校協働本部	有
活動区分	学校支援活動					
			放課後子供教室			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数		配置人数	3人
ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	無	ICT機器活用		無
	160人					
参考URL	https://www.osaka-c.ed.jp/sakai-y/HOME.html					



●連絡先	大阪府立堺支援学校	☎ 072-241-0288
------	-----------	----------------

●活動の概要・経緯
○大阪府立堺支援学校は、昭和31年 4月、全国初の公立の肢体不自由養護学校として開校した。地域とのつながりも長年に亘って築き上げてきたものがあり、そのひとつの象徴が「福祉盆踊り大会」である。この「福祉盆踊り大会」は教職員、地域住民、福祉事業所が中心となって企画運営し、30年以上もの長きに亘って継続しているイベントであり、令和元年度より「福祉秋祭り」として実施している。この取組みが基礎となって、地域住民との関わりが日常的な学習支援や行事等での交流に発展し、「堺支援ふれあい広場」の活動へとつながっていった。また時おりしも「百舌鳥・古市古墳群を世界遺産に！」という機運の高まりとも重なり、その実現に向けた協働した取組みを通じ、学校と地域との関係がよりいっそう強固なものとなっていった。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- 学校支援活動：高等部「職業（園芸）及び「生活」の授業における花苗づくりや定植、水やりの指導等。高等部「選択（陶芸）」の授業における陶芸の技術指導等。
- 学習園開放：地域自治会による野菜収穫体験及び野菜の販売。
- 環境美化活動：地域ボランティアと協働での花壇整備、花苗づくり。「仁徳陵をまもり隊」主催の古墳清掃に参加。
- 福祉秋祭り(平成30年度までは福祉盆踊り大会)
：学校、地域自治会、福祉事業所、学生ボランティア、各種団体と協働で祭りの企画運営。

【実施に当たっての工夫】

- 教員OB等を活用し、児童生徒の実態に即した学習支援を行っている。園芸においては、地域自治会の方々を対象に、育てた野菜の収穫体験会を実施している。このことで相互の充実感が増し、活動の促進へとつながっている。
- 地域住民対象のパソコン教室の開催、防災訓練の見学等、地域住民の方が来校する機会を増やし、学校理解・障がい理解を深める機会としている。

【関係機関・団体等との連携状況】

- 学校運営協議会において、学校と地域との協働活動や連携の状況について報告している。委員の中に地域自治会代表の方がいるので、学校と地域双方の立場から報告や意見交換ができています。
- 地域自治会とは、住民の来校機会を増やしたり、「学校だより」「自治会だより」を配付したり等、日常的に連携を図っている。
- 福祉事業所とは、送迎時や連絡網を活用して、円滑な情報伝達に努めている。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- 園芸や陶芸の授業は、職業・進路学習の一環でもあり、進路選択の際に大いに参考となるものである。また園芸や陶芸の技術習得が卒業後の生きがいとなり、QOLの向上にもなっている。
- 農作物を育てる一連の工程を学習することで、農作物の基礎的な知識や技術を習得するのみにとどまらず、地域の方から指導いただいたことを目に見える形で還元できている。労働の対価として一定の収入が得られるという体験は、生徒のやりがいや達成感にもつながっている。
- 地域自治会との協働が、他の援助や支援を受けることにつながっている。（例：地域在住の職人による門扉修理、ごみ収集箱の製作・設置等。）
- 福祉事業所との協働が、本校保護者対象の事業所説明会の円滑な実施という進路指導の充実にもつながっている。

● その他

○本校の教育目標である『共生社会の中で、あかるく、ただしく、たくましく、生きていく子を育成する。』の実現・達成に向けて、学校、地域、関係団体が相互に理解を深め合うことができる協働活動を行っている。



福祉盆踊り大会
(令和元年度からは福祉秋祭り)



高等部
職業（園芸）の授業
定植